

学校運営協議会 議事録

校名	府立和泉高等学校
(准)校長名	河合 良樹

開催日時	令和5年6月10日(土) 10:00～11:30
開催場所	和泉高校 2階 大講義室
出席者(委員)	小幡昇会長、山東功委員、谷岡美香子委員、徳重圭子委員
出席者(学校)	河合良樹、橋本公貴、今村幸一、藤永祐嗣、家本泰江、片山寿紀、岡本梓
傍聴者	0名
協議資料	令和5年度 学校経営計画 スクール・ミッション スクール・ポリシー
備考	

議題等(次第順)	
・校長挨拶 ・教頭より、実施要項の確認 ・校長より、令和4年度学校経営計画と評価 ・進路指導主事より、令和5年度入試等進路状況 ・グローバル科長より、グローバル人材育成プログラム	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
・会長、副会長の選出 小幡会長、山東副会長に決定 ・校長より、令和5年度学校経営計画(案) - 委員A:土曜授業(グローバル科のみ対象)で生じるグローバル科と普通科との差をどう埋めるか - 校長:普通科の希望者を同じ時間に登校させ、卒業生に質問ができる仕組みや授業動画の配信等を検討 - 委員B:土曜授業がないから普通科を選んでいる生徒もいる - 委員C:グローバル科と普通科の差が見えづらい ・校長より、スクール・ミッション、スクール・ポリシー - 委員A:アドミッション・ポリシーはグローバル科希望者対象部分もあるが、グラデュエーション・ポリシーとカリキュラム・ポリシーは同じで良いのか - 校長:全体は同じであるが、カリキュラムで差別化を図っています - 委員A:グラデュエーション・ポリシーとカリキュラム・ポリシーにおいても差異を具体的に示しても良いのでは - 校長:検討します	

次回の会議日程	
日時	令和5年8月25日(金) 16:00～
会場	和泉高校 1階 会議室

学校運営協議会 議事録

校名	府立 和泉高等 学校
(准)校長名	河合 良樹

開催日時	令和 5 年 8 月 25 日 (金) 16 : 00 ~ 17 : 00
	和泉高校 1階 会議室
出席者(委員)	木幡昇会長、山東功委員、倉垣裕行委員、中村俊一委員 谷岡美香子委員、徳重圭子委員
出席者(学校)	橋本公貴、今村幸一、藤永祐嗣、家本泰江、石橋諭、片山寿紀、岡本梓
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度 使用教科書の選定について
備考	

議題等(次第順)	
・会長挨拶 ・教頭より、実施要項の確認 ・進路指導主事より、第1回全統共通テスト模試結果 ・首席より、オープンキャンパスアンケート結果 ・教頭より、第1回授業アンケート結果	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
・報告事項・協議後質疑応答 ・委員A:教科書について、「情報」の授業はどのような授業をしているのか。 進路指導主事:1年次に「情報Ⅰ」を履修し、3年次は入試に対応した選択科目がある。内容は教科書を用いての授業やプログラミングの実習を行っている。新3年生からの共通テストの受験科目に追加されたが、それにもいち早く対応している。 ・委員B:「文学国語」「地学」はどうしているのか 首席:「地学」は開講していない。「文学国語」は副読本『定番小説選』を用いて対応している。 ・委員A:入学時の学力を維持して、進路選択できるようなことを何かしているのか。 進路指導主事:公立大見学ツアーなど生徒のモチベーション向上を図っている。 ・委員A:観点別の授業について、インプット・アウトプットといった発表等の授業はどのタイミングで行っているのか。 首席:新課程の授業については、各教科で工夫しながら行っている。 ・委員C:オープンキャンパスに参加した中学生より文化祭の参加は可能なかと聞かれたが。 首席:2日目のみ可能。入場時に生徒証が必要。 ・委員D:文化祭(特に3年生)はコロナ禍前の状況に戻さないのか。 首席:諸々の状況をふまえて、検討していく。 ・委員B:イングリッシュキャンプがグローバル科のみのものはなぜか、また、グローバル科独自のものというのならば、なぜ全員参加ではないのか。イングリッシュキャンプは学年全員参加させるべきではないか。 グローバル科長:イングリッシュキャンプ今年度参加生徒:46名 NET3名と英語科の教員数名で運営しているので、参加人数が増えたと対応が厳しくなる。 ・委員B:グローバル科と普通科の差異は何なのか。 首席:英語科の教員も色々と考えている。 グローバル科・普通科共に諸々検討していく必要はある。	

次回の会議日程	
日時	令和6年1月26日(金)16:00~17:00
会場	和泉高校 1階 会議室

学校運営協議会 議事録

校名	大阪府立和泉高等学校
(准)校長名	河合 良樹

開催日時	令和6年1月26日(金) 16:00 ～17:00
開催場所	和泉高校 1階 会議室
出席者(委員)	小幡昇会長、山東功委員、倉垣裕行委員、中村俊一委員、 谷岡美香子委員、徳重圭子委員
出席者(学校)	河合良樹、橋本公貴、今村幸一、家本泰江、片山寿紀、清水寛史
傍聴者	0名
協議資料	令和6年度学校経営計画
備考	

議題等(次第順)
・会長挨拶 ・教頭より、第2回授業アンケート結果・学校教育自己診断結果 ・進路指導主事より、入試・模試の中間報告 ・グローバル科長より、グローバル人材育成プログラムについて(留学生受け入れ体制の整備・スピーチコンテスト等の外部での発表) ・令和6年度学校経営計画(司会:小幡様)協議→承認
協議内容・承認事項等(意見の概要)
・報告事項・協議後質疑応答 ・委員A:学校教育自己診断について、チーム・OJTの数値が低いのはなぜか。個人商店的な感じがする。 教頭:教科のまとまりは強いが、分掌・学年のまとまりは弱い。担任と副担任の関りが薄い。 委員A:それぞれのまとまり方にもバラつきがあるのでは。それが成績に反映される。 校長:学年よりも分掌がまとまっている方が良いと思う。 委員A:分掌に任せきりにしたりするのはいかがなものか。 教頭:管理職と首席が中心となってまとまりのあるチームづくりを行っていく。 ・委員B:入試について、上位層はどこを受験するのか。 進路指導主事:大阪大学・神戸大学を受験する。 ・校長:学校経営計画の説明。(1)学力向上:何か要となるものを。土曜授業の活用。(2)IMの充実化。海外修学旅行の復活・オーストラリア語学研修。(3)CEFERのB1レベル以上を10%に。部活動加入率の維持。外部との交流。(4)海外大学進学者を増やす。 ・委員B:授業でのICT活用はどうなっているのか。教員同士で活用法等が共有できれば良いのでは。 校長:課題配信・反転授業を行っている教員もあり、成績向上につながっている。長期欠席の生徒にも配信での授業を行っている。 教頭:今後DX予算も絡めて授業に活かしていく。 委員A:課題配信・提出で十分に活用しているなら、授業アンケートの問い方を見直した方が良いのでは。 ・委員B:意欲的な生徒とそうでない生徒の対応について教員のコーチングが必要では。生徒のモチベーションアップの仕掛けが大事。やらせっぱなしではいけない。教員にも生徒にも少しずつ目標を決めて取り組んで定着させることが大事。

次回の会議日程	
日時	令和6年 6月15日(土)10:00～
会場	